

1. トップページを更新

前回作った index.html を書き換えます。テキストエディタを使って次のプログラムのように必要な部分を追加し保存してください。

```
<html >
<head>
<title>
トップのページ
</title>
</head>

<body>
<center>
トップのページ
<br><br>
200X XX XX update
<br><br>
<hr>
<br><br>
<a href="/kadai 1. html ">課題 1 </a>
<br><br>
<a href="/kadai 2. html ">課題 2 </a>
<br><br>
<a href="/kadai 3. html ">課題 3 </a>
<br><br>
<a href="/kadai 4. html ">課題 4 </a>
<br><br>
<a href="/kadai 5. html ">課題 5 </a>
<br><br>
<a href="/kadai 6. html ">課題 6 </a>
<br><br>
</center>
</body>
</html >
```

2. CSS

HTML はページに文章を記述し簡単な画像を表示することで本来の目的を達成していましたが、最近では個性的なページを表現するため、レイアウトやスタイルに工夫を凝らすようになりました。そのためタグのパラメータを多用するようになって、HTML プログラムは複雑なものになっています。

そこで、スタイルシートを使ってこのようなレイアウトやスタイルに関する要素を文書から分離して考えるようになりました。このスタイルシートの規格としてW3C (HTML の仕様を決定する機関) はCSS (Cascading Style Sheet) を採用しています。

さらにHTML を拡張したXML ではスタイルシートは完全に分離されています。このようにスタイルシートはこれからのマークアップ言語を学ぶ上で、必ず出てくる概念なので、今のうちに慣れておきましょう。

スタイルシートはいろいろな設定をすることができますが、その中から重要なものをピックアップして紹介していきます。

まず、次のHTML プログラムを試してみましょう。

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
</head>
```

```
<body>
<center>
<hr>
<br>
<br>
<p>
<font color="#ff4500">
HTMLにはもう慣れましたか。
</font>
</p>
<br>
<br>
<p>
<font color="#ff4500">
次はスタイルシートの練習です。
</font>
</p>
<br>
<br>
<p>
<font color="#ff4500">
スタイルシートを勉強しておく
</font>
</p>
<br>
<br>
<p>
<font color="#ff4500">
XMLも比較的楽に学べるでしょう。
</font>
</p>
<hr>
</center>
</body>
</html>
```

重複している部分がかなりあります。今、``タグを使っていますがスタイルシートを利用することで、この部分を`<p></p>`タグの属性として設定することができます。

次の例を試してみましょう。

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<style type="text/css">
  <!--
  p{color:#ff4500}
  -->
</style>
</head>
<body>
<center>
<hr>
<br>
<br>
<p>
HTMLにはもう慣れましたか。
</p>
<br>
<br>
<p>
次はスタイルシートの練習です。
```

```
</p>
<br>
<br>
<p>
スタイルシートを勉強しておく
</p>
<br>
<br>
<p>
XMLも比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr>
</center>
</body>
</html>
```

表示は前の例と変わりませんが、タグを使わずに<p></p>タグで色の指定を行うことができます。

<head></head>タグで次のコードを書いています。

```
<style type="text/css">
  <!--
  p{color:#ff4500}
  -->
</style>
```

まず、スタイルシートを利用するということで<style type="text/css"></style>タグを使います。次に<!--と-->で囲んでいますが、これは本来この範囲をコメントとして指定するものです。スタイルシートを使う場合、ブラウザによっては未対応のものがあり、コメントとしておかない場合、このコードが画面に表示されてしまいます。そこでこのような、書き方をして未対応のブラウザにも対応しています。

```
p{color:#ff4500}
```

そしてこのようにタグ名を書き、次に{}で属性を指定することができます。属性はこの他にサイズなどいろいろなものを指定できます。詳細については専門の解説書あるいはネット上でスタイルシートを解説したページがあるので参考にしてください。属性は属性名の次に:を置いて値を指定します。

次に同じタグに複数のスタイルが適用できるようにしてみましょう。次の例を試してみてください。

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<style type="text/css">
  <!--
  p.orange{color:#ff4500}
  p.gold{color:#ffd700}
  p.green{color:#228b22}
  p.blue{color:#4682b4}
  -->
</style>
</head>
<body>
<center>
<hr>
<br>
<br>
<p class="orange">
```

```
HTMLにはもう慣れましたか。
</p>
<br>
<br>
<p class="gold">
次はスタイルシートの練習です。
</p>
<br>
<br>
<p class="green">
スタイルシートを勉強しておく
</p>
<br>
<br>
<p class="blue">
XMLも比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr>
</center>
</body>
</html>
```

同様にスタイルシートを使っていますが、次のように

```
p.orange{color:#ff4500}
```

タグ名の次にドットで名前を指定し、その名前により属性をいろいろ設定することができます。このように定義した名前は

```
<p class="orange">
```

のようにタグのパラメータとして class の値として指定することで、その名前に割り当てられた属性を利用することができます。

この応用として、この属性を他のタグにも適用することができます。次の例を試してみてください。

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<style type="text/css">
  <!--
    .orange{color:#ff4500}
    .gold{color:#ffd700}
    .green{color:#228b22}
    .blue{color:#4682b4}
  -->
</style>
</head>
<body>
<center>
<hr class="blue">
<br>
<br>
<p class="orange">
HTMLにはもう慣れましたか。
</p>
<br>
<br>
<p class="gold">
次はスタイルシートの練習です。
```

```
</p>
<br>
<br>
<p class="green">
スタイルシートを勉強しておく
</p>
<br>
<br>
<p class="blue">
XMLも比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr class="orange">
</center>
</body>

</html>
```

スタイルシートの定義は次のように

```
<style type="text/css">
<!--
.orange{color:#ff4500}
.gold{color:#ffd700}
.green{color:#228b22}
.blue{color:#4682b4}
-->
</style>
```

タグを指定せずにドットで始まるような書き方をすることで、他のタグに属性を適用することができます。この例では<hr>タグにパラメータとして class を使い、値を渡すことで色を指定しています。

また、このようなスタイルシートの設定を別ファイルとしておくことで、このスタイルを他のページにも利用することができます。統一したデザインを実現するためにはとても便利な機能です。

次の例を試してみましょう。

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<link rel=stylesheet
      type="text/css"
      href="./style1.css">
</head>
<body>
<center>
<hr class="blue">
<br>
<br>
<p class="orange">
HTMLにはもう慣れましたか。
</p>
<br>
<br>
<p class="gold">
次はスタイルシートの練習です。
</p>
<br>
```

```
<br>
<p class="green">
スタイルシートを勉強しておく
</p>
<br>
<br>
<p class="blue">
XMLも比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr class="orange">
</center>
</body>
</html>
```

スタイルの設定を別ファイルとして設定した場合には、このファイルにリンクしておく必要があります。

```
<link rel=stylesheet
      type="text/css"
      href="./style1.css">
```

パラメータ rel に stylesheet と指定し、type パラメータにスタイルシートのタイプ "text/css" を指定します。リンクの仕方は同じですが、<link>タグを利用しています。また、別ファイルとしたスタイルシートのファイルの拡張子は css としてください。

この例の style1.css ファイルには次のように書いておきます。

```
.orange{color:#ff4500}
.gold{color:#ffd700}
.green{color:#228b22}
.blue{color:#4682b4}
```

以上、スタイルシートの使い方について練習してきました。この他にもHTMLでできなかった細かな設定もできるようになっております。2、3例を示してみます。

・行間の設定

```
<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<style type="text/css">
<!--
.orange{color:#ff4500}
.gold{color:#ffd700}
.green{color:#228b22}
.blue{color:#4682b4}
.p.a{line-height:15px;color:#ff4500}
.p.b{line-height:30px;color:#ffd700}
.p.c{line-height:200%;color:#228b22}
-->
</style>
</head>
<body>
<center>
<hr class="blue">
<br>
<br>
<p class="a">
HTMLにはもう慣れましたか。<br>
HTMLにはもう慣れましたか。<br>
HTMLにはもう慣れましたか。<br>
```

```

</p>
<br>
<br>
<p class="b">
次はスタイルシートの練習です。<br>
次はスタイルシートの練習です。<br>
次はスタイルシートの練習です。<br>
</p>
<br>
<br>
<p class="c">
スタイルシートを勉強しておく<br>
スタイルシートを勉強しておく<br>
スタイルシートを勉強しておく<br>
</p>
<br>
<br>
<p class="blue">
X M L も比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr class="orange">
</center>
</body>
</html>

```

スタイルシートの属性に line-height を使います。単位は px,pt , in ,cm ,%を利用することができます。それぞれピクセル、ポイント、インチ、センチメートル、デフォルトに対するパーセントを意味しています。設定時、属性を複数並べる時には ; を使って区切ってください。

・背景色のスタイル指定

```

<html>
<head>
<title>
スタイルシートの練習
</title>
<style type="text/css">
  <!--
    .orange{color:#ff4500}
    .gold{color:#ffd700}
    .green{color:#228b22}
    .blue{color:#4682b4}
    p.a{line-height:15px;color:#ff4500}
    p.b{line-height:30px;color:#ffd700}
    p.c{line-height:200%;color:#228b22}
    p.ap{background:skyblue;color:#ff4500}
    p.cp{background:hotpink;color:#228b22}
  -->
</style>
</head>
<body>
<center>
<hr class="blue">
<br>
<br>
<p class="ap">
H T M L にはもう慣れましたか。<br>
H T M L にはもう慣れましたか。<br>
H T M L にはもう慣れましたか。<br>
</p>
<br>
<br>

```

```
<p class="b">
次はスタイルシートの練習です。<br>
次はスタイルシートの練習です。<br>
次はスタイルシートの練習です。<br>
</p>
<br>
<br>
<p class="cp">
スタイルシートを勉強しておく<br>
スタイルシートを勉強しておく<br>
スタイルシートを勉強しておく<br>
</p>
<br>
<br>
<p class="blue">
X M L も比較的楽に学べるでしょう。
</p>
<hr class="orange">
</center>
</body>
</html>
```

属性に background を使うことで、背景色を指定することができます。

以上スタイルシートを利用することで、HTML ドキュメントとスタイルを分離して利用できるようになります。ここで、取り上げていない属性もいろいろあるので、興味のある方は調べてみるとよいでしょう。

このように便利なスタイルシートですが、インターネット・エクスプローラとネットスケープ・ナビゲータでは統一されていない機能もあるので注意が必要です。

< 参考書 >

- ・ HTML ポケットリファレンス、シーズ、技術評論社、1490 円
- ・ HTML & スタイルシート辞典、岡蔵龍一、秀和システム、2200 円

課題 . ワールドカップの大陸別分類のページで大陸別に分けたテーブルの枠を CSS を使い色分けしなさい。作ったページのファイル名は kadai6.html としてください。

< ヒント > 次の HTML プログラムを参考にしてみてください。

```
<html>
<head>
<style type="text/css">
  <!--
    table.s{border-collapse:collapse}
    td.b{border-style:solid;border-width:1px;border-color:#ff4500}
  -->
</style>
</head>
<body>
<table class="s">
<tr>
<td width="100" class="b">
テスト
</td>
```



```
<td width="100" class="b">  
テスト  
</td>  
</tr>  
<tr>  
<td width="100" class="b">  
テスト  
</td>  
<td width="100" class="b">  
テスト  
</td>  
</tr>  
</table>  
</body>  
</html>
```